



関東リーグ戦では負けなしの圧倒的強さを示した藤田大和選手。(対東農大戦)

兄弟で東京オリンピックを目指す!!!

拓大ボクシング部

藤田大和

健児選手

全日本大学王座決定戦
最優秀選手賞受賞

H23年 日本バンタム級チャンピオン
藤田大和選手
(国際学科3年)

H25年 日本バンタム級チャンピオン
藤田健児選手
(国際学科2年)

2013年
日本ボクシングアマチュア部門
年間優秀選手賞受賞



2013年国内無敗! ついに日本チャンピオンまで上り詰めた藤田健児選手(対東農大戦)



12月8日、第67回全日本大学ボクシング王座決定戦が水戸市東町運動公園スポーツセンター体育館で開催され、関東王者として出場した拓殖大学ボクシング部が、関西王座の関西大学に勝利し大学日本一に輝いた!

4年ぶり8度目の日本王座となったボクシング部を牽引するのは、新たに主将となった大和選手と1つ年下の弟・健児選手の藤田兄弟。倉敷高校時代から大和選手は3冠、健児選手はインターハイ3連覇を含む5冠、さらに高校2年で全日本選手権に優勝し、日本チャンピオンに輝く2人。今後の目標を聞いた。

大学王座連覇と日本王座獲得

大和「拓大ボクシング部は現役世界王者やオリンピック日本代表選手を輩出する大学ボクシング界の名門。新チームの主将を任せられ、責任の重さを感じている。大学王座連覇を目標に、先頭に立ってチームを鍛え直したい。個人としては、昨年は負けなしだったが、国体と全日本選手権では、チャンピオンに手が届かなかった。

今年王者である自衛隊体育学校の成松大介選手に勝って、なんとこちらもチャンピオンになりたい」

健児「高校2年で日本チャンピオンになって以来、3年ぶりに王座に返り咲いた。大学でより強くなれたことを実感している。国内無敗が評価され、2013年間優秀選手賞アマチュア部門(※)を受賞したが、最優秀選手賞は該当者なかったのだと思う。今年是最優秀選手賞を目指していきたい。一流の場でプロの選手たちと並んで表彰されたのはうれしい」

大和「健児は弟なのに一歩先を行く。健児が日本チャンピオンを獲った翌年に、僕がチャンピオンになったし、今回も先を越されてしまった。チームオーダーで本来の階級より重いライト級で戦っているが、主将として、兄として負けられない」

健児「国際大会にも出場するようになったが、海外には様々なタイプの選手がいて勝ち切れない。足りないのは経験だと思うので、積極的に海外の試合に参加していきたい」

目指すは兄弟でオリンピック

大和「ボクサーとして強さを求めているが、将来は先生になって学生を指導したい。そのため大学で教職課程を受けていて、今年は拓大紅陵高校の教育実習に行く。ボクシングと

日本ボクシング2013年年間表彰選手

プロ部門	
技能賞	内山高志(ワタナベ・拓大卒)WBA世界スーパーフェザー級王者
敢闘賞	八重樫東(大橋・拓大卒)WBC世界フライ級王者
年間最高試合賞	内山高志(ワタナベ)vs金子大樹(横浜光) 12月31日 WBA世界スーパーフェザー級タイトルマッチ
アマチュア部門	
優秀選手賞	藤田健児(拓殖大学)日本バンタム級王者
敢闘賞	鈴木康弘(自衛隊・拓大卒)日本ウェルター級王者・ロンドン五輪日本代表



1月24日東京ドームホテルにおいて2013年度年間優秀選手表彰式が行われた。壇上にはアマチュア部門の藤田健児選手と鈴木康弘選手、プロ部門の内山高志選手、八重樫東選手ら拓大出身の選手が顔をそろえた。

の両立は大変だが、自分に課した課題なので成し遂げたい。しかし、今はオリンピック出場を目指している」

健児「王座を守って、リオデジャネイロ・オリンピック出場に近づきたい。そして2020年に開催される東京オリンピックをボクシング人生の集大成として、その時は大和とふたり、兄弟で表彰台に立ちたい」